

| | | | |
|----------------------------|---|----------|------------------------|
| プログラム名 (40字以内) | [五感で知る奥能登の今] 伝統の内側でキリコを担ぐ、能登町あばれ祭潜入プログラム | | |
| 団体名/所属 | 東大FS能登町支援チーム(担当教員 社会連携本部長 津田敦) | | |
| 活動区分 | ボランティアなどの社会貢献活動 | 希望する選考方法 | 自動抽選(事務局で公平に抽選して決定します) |
| 募集人数 | 10人 | 選考対象 | 大学院学生を含む |
| 活動方法 | オンラインを活用しつつ現地活動を行う | | |
| 参加者に求めるもの | 6月下旬に、参加するあばれ祭や能登半島の現状についての勉強会をオンラインで実施します。日時は参加者間で調整のうえ決定し、参加できない方には後日録画リンクを送付する予定です。 | | |
| 活動期間 | 2026/7/3(金)~7/5(日) | 主な活動予定場所 | 石川県能登町、オンライン |
| プログラム実施の目的 | 震災後の能登の現状を学び、キリコの担ぎ手として伝統文化の継承に直接寄与する。地域住民との協働を通じ、復興の歩みと課題を深く理解することで、将来にわたり能登町と関わる「関係人口」としての意識を持つ。 | | |
| 具体的な内容(800字程度) | <p><はじめに> 石川県能登町には、豊かな里山里海・日本遺産「あばれ祭」に代表されるような神事など、日本の原風景とも言える生活・文化が根付いています。しかし、人口減少等の課題からこれらの継承には課題があります。そこで能登町では、関係人口を創出することによりこれからの能登町をともに作っていかうとする試みが行われており、これまで9年間で40人の東大生が能登町とともに活動してきました(FSプログラム & FS能登町支援チーム)。能登半島地震という大きな震災を経験した能登町とともに、復興への道のりを進め、祭りをさらに盛り上げるプログラムの参加者を以下の通り募集します。</p> <p><活動概要> 本プログラム最大の特徴は、通常外部の人間は触れることすら叶わないあばれ祭の「キリコ(奉燈)」を、地元の方々と共に担ぐ体験です。日本遺産に指定された奥能登キリコ祭りを代表する奇祭である能登町宇出津のあばれ祭では、キリコが犬松明の火の粉を浴びながら乱舞する幻想的な光景が広がります。震災から2年が経過した奥能登の現在地を五感で知ること、深刻な担ぎ手不足に悩む地域の力となること、熱狂の渦中で現地の方々との深い絆を結ぶことなど、観光では体験できない地域と祭りの内部に飛び込むことができるプログラムになります。</p> <p>プログラムの運営には、昨年、一昨年とあばれ祭に参加した学生中心に構成される東大FS能登町支援チームがサポートを行います。チームは昨年度も30人規模でのあばれ祭体験ツアーを運営しており、今年度も同じ運営でのプログラム実施を想定しています。</p> <p><スケジュール(現時点でのものになります)> 1日目: 16時 能登空港集合 ※ANA749便(羽田15時発)推奨 18時 祭り開始、キリコ担ぎ 未明 祭り1日目終了後帰宿</p> <p>2日目: 12時 奥能登の被害地域を視察、現地飲食店にて昼食 16時 祭り開始、キリコ担ぎ 未明 祭り、片付け終了後帰宿</p> <p>3日目: 12時 奥能登の被害地域を視察、地域の方々との交流 16時 能登空港解散 ※ANA750便(羽田18時着)推奨</p> <p>また、宿泊は古民家の一棟借りを予定しています。</p> | | |
| 【総額】参加するための費用 | 32,000円 | | |
| 【内訳】参加するための費用(宿泊費) | 2,000円(1,000円×2泊、古民家の一棟貸しを予定しています) | | |
| 【内訳】参加するための費用(交通費) | 20,000円(羽田-能登空港往復の場合10,000円×往復、町内の移動は運営チームが負担します) | | |
| 【内訳】参加するための費用(その他) | 10,000円(3日分の食費、保険加入費、町内への寄附等) | | |
| 奨励金額(予定) | 25,000円 | | |
| 備考 | 特になし | | |
| 活動に関する関係資料のダウンロードサイト | 昨年実施したプログラムについてのnote記事: note.com/notochoice/n/n739e4ac0b6b8 石川県能登地方を震源とする地震に関する本学の取り組みについて: www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/actions/noto_earthquake.html | | |
| 応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合) | 東大FS能登町支援チーム公式note: note.com/notochoice 東大FS能登町支援チーム公式Instagram: www.instagram.com/noto_choice_2022/ 東京大学総長官: www.u-tokyo.ac.jp/content/400259225.pdf | | |
| この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無 | 参加する | | |